

高等学校家庭科【家庭基礎】 内容「生活の自立及び消費と環境」

単元名「消費生活と生涯を見通した経済の計画」

単元の目標

消費生活の現状と課題や消費者の権利と責任について理解させ、適切な意思決定に基づいて行動できるようにするとともに、生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考えることができる。

生活の課題
発見

解決方法の
検討と計画

課題解決に向けた
実践活動

実践活動の
評価・改善

ICT活用のポイント

- 作業負担の少ない結果収集、分析 → 学習意欲の喚起
- 教材の一斉送信・共有 → 演習時間の確保
- 生活に関わる様々な情報の収集・活用・吟味 → 学習意欲の喚起
- 情報共有による他者との相互作用 → 学びの深化

事例の概要

- 本時の目標は、「毎日の暮らしにおける生活の収入と支出のバランスについて理解し、生涯を見通した生活における経済の管理や計画について考えよう」である。
- 表計算ソフトを用いて、自分が望む消費スタイルとのギャップを埋めるために条件を変えながら食費や住居費等の生活費を入力させることで、経済の管理や計画を自分事として捉えさせることができる。
- 演習中に重視した点や悩んだ点などを文書作成ソフト等で整理してクラウド上に置くことで、他者と多様な考えを効率的に共有し、他者との相互作用によって視野を広げることができる。

高等学校家庭科【家庭基礎】 内容「生活の自立及び消費と環境」

単元名「消費生活と生涯を見通した経済の計画」①

【作業負担の少ない結果収集、分析とグラフ化】

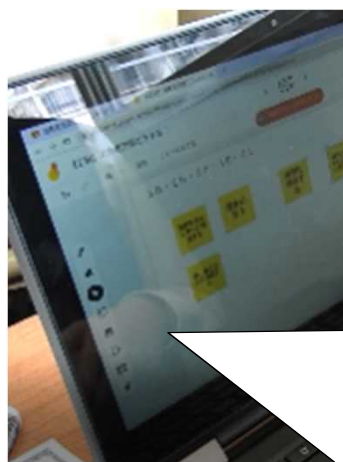


■ 家庭科では、生徒に当事者意識をもたせるために、アンケート調査等を行うことがある。

【ICTを活用するメリット】

紙ではなくデジタルでのアンケートを実施することで、生徒全員が回答を終えた直後に、自動でグラフ化された結果を確認させることができ、生徒の学習意欲の喚起にもつながる。また、教師がアンケートを集計する手間も省くことができます。この機能は、授業終末に実施する小テストの自動採点や振り返りシートの集約にも活用できる。

【教材の同時一斉送信・共有】



※表計算ソフトで作成した「シミュレーションシート」と配付した資料の一部

■ 家庭科では、生徒の学習意欲の喚起や、思考の深化を促すために、複数の補助資料を配付することがある。

【ICTを活用するメリット】

教師用端末から生徒の端末に教材を一斉送信・共有することで教材配付の時間が短縮され、説明や生徒の演習時間を十分に確保することができる。

【活用したソフトや機能】 表計算ソフト、文書作成ソフト、アンケート機能

高等学校家庭科【家庭基礎】 内容「生活の自立及び消費と環境」

単元名「消費生活と生涯を見通した経済の計画」②

【個々のペースで情報の収集・活用・吟味】



- 前時までの学習プリントやレポート課題、補助資料等を活用し、個々のペースで条件を変更して試行錯誤を繰り返しながら、本時の目標達成に向けて演習に取り組んでいる。

【ICTを活用するメリット】

一人一台の環境があり、誰もが自分の端末で資料を見られるからこそ、自分に合ったペースで学習を進めたり、理解を深めたりすることが可能となる。

【同時閲覧】



- 家庭科では、他者とかかわりながら多様な生活の営みや価値観に触れる中で、自分の生活をさまざまな角度から捉え直し、生活についての理解を深める。

【ICTを活用するメリット】

一人一台の端末を使って個々に作成した資料をクラス全体で同時に閲覧し、自己と他者の考え方の差異や共通性を確認し合う「他者との相互作用」により、学びを深めることができる。

【活用したソフトや機能】 表計算ソフト、文書作成ソフト、アンケート機能